

なとり市議会だより

2023.2.1 No.181 令和4年12月定例会の内容をわかりやすくお伝えします。



CONTENTS

- 議員が聞いたこんなこと…………… P2
- 犯罪被害者等への支援を推進します…………… P9
- 宮城県南部消防指令事務協議会の設置は否決されました…………… P9
- N-WATCH(エヌ・ウォッチ)…………… P12



議員が聞いた

こんなこと

一般質問

一般質問とは

皆さんの生活に関わる大切な内容について市議会議員が市に対して質問を行います。12月定例会では、12人の議員から25項目の質問がありました。

一般質問を含めた本会議の内容は、録画でも配信しています。市ホームページの「議会中継」から御覧ください。



福祉

児童虐待の未然防止・早期発見のため体制強化すべき



荒川 洋平

Q 本市の過去5年の児童虐待の発生件数は。

A 平成29年度は24件で、30年度以降、29件、36件、91件、97件となっている。

Q 発生要因とケースをどう捉えているか。

A コロナ禍において失業やテレワークなどの在宅勤務が増えたことで、家族の在宅時間が増え、夫婦げんかを目撃する面前DVのケースが増えている。

Q 令和3年度のケース別の件数は。

A 身体的虐待29件、性的虐待1件、ネグレクト6件、心理的虐待61件である。

Q 全国の児童相談所での虐待相談対応件数は、10年前の6万6701件から右肩上がりが増え、令和3年度は20万7659件である。このような全国状況や本市の増加傾向を市長はどう感じているのか。

A 虐待については、児童の成長にも様々な阻害がある。

市としても関係機関と連携して対応していくべきだと感じている。

Q 児童虐待の未然防止・早期発見のため、早急に体制強化を図るべき。

A 児童相談所との連携による相談体制の強化や、相談員のスキルアップによる効果的・効果的な相談業務に取り組んでいる。また、市ホームページに寄せられる虐待情報メールの対応や、県のLINE相談などSNSの活用を呼びかけ、気軽に連携・相談できる環境づくりに努めていく。

質問した内容 1 児童虐待対策



策

デジタル地域通貨を 導入すべき



吉田 良

Q 1990年代後半から2000年代前半にかけて、

地域通貨ブームが起ったが、管理コスト等の理由により、多くが発行停止となった。その後、デジタル技術の開発と端末の普及が進み、スマートフォン決済などの活用が可能となり、コストの課題が解消されてきている。デジタル地域通貨の導入について、本市における検討の経緯と内容は。

A 決定には至っていないが、

施策の一つとして検討している。現時点では、幅広く対象を捉えて研究している。

Q デジタル地域通貨の導入

による利点と課題をどのように捉えているのか。

A 地域内での経済循環の活

性化や施策の推進が期待され、また匿名処理したデータを今後の政策立案等に活用できる。一方、デジタルデバイドの解消またはその補完対策等に加え、認知度をどれだけ上げるかが課

題である。

Q 本市は他の自治体と比べて、

公民館を中心とする地域コミュニティ活動が盛んであり、生涯学習や世代間交流といった課題に住民全体が関心を持っている傾向がある。コミュニティ活動への参加促進に重点を置いたデジタル地域通貨制度を導入すべき。

A 非常に大切な視点である。

ロードマップ作成において段階的な導入も検討しており、導入当初は行政施策推進のためのインセンティブ付与から始めたい。

質問した内容

- 1 デジタル地域通貨の導入
- 2 小山雨水調整池の整備
- 3 市長による模造銃所持画像のSNS投稿

安

市道三日町熊野堂線の 歩道を拡幅整備すべき



長南 良彦

Q 高館交番前から市道熊野

堂柳生線の交差点までは歩道が片側のみで幅も狭く、通行者にとって大変危険である。現状をどのように捉えているか。

A 有効幅員が市道の技術基

準条例にある幅2.5mを確保し、歩車道境界ブロックが連続して設置されており、一般的な道路構造上の安全性は確保されているが、交通量が多い路線である。

Q 車両等との接触事故防止

対策として歩車道境界部にガードパイプを設置すべき。

A 緊急に設置しなければなら

ない箇所とは捉えていないが、視線誘導標の更新や路面標示設置の安全対策のほか、部分的にガードパイプの設置を検討する。

Q 歩道西側の既存のガード

パイプを撤去し、通行者の安全確保のため歩道を拡幅すべき。

A 既存のガードパイプは老

朽化が著しいため段階的に

撤去し、生まれた空間に一定幅で碎石を敷きならし歩道空間の確保に努める。

Q 歩道の亀裂補修と雨水排水対策を実施し、通行者の安全確保に努めるべき。

A 亀裂補修は緊急性の高い箇所から順次行っており現場状況を確認しながら引き続き対応する。雨水排水対策は、西側のガードパイプの撤去に併せ、一体的に土砂を撤去し、円滑な路面排水が図られるよう取り組み

質問した内容

- 1 市道三日町熊野堂線の歩道拡幅整備
- 2 児童生徒の交通事故防止対策



政策
懸命に働く職員の姿こそ
シティセールスすべき



菊地 昌夫

国際
人材育成と地域活性化に向けて
国際交流を推進すべき



熊谷 克彦

Q 本市の今後の人口増減、少子高齢化の課題をどう捉えているか。

A 人口8万人を前に足踏み状態が続いている。地域活力低下、地域経済減退などにつながるおそれがあり、持続可能なまちづくりにとって大きな課題である。

Q 定住人口増を目的とし、子育て支援や教育環境等のアピールポイントについて「(仮称)住むなら名取、などの魅力アンケート」を実施し、市民協働でのシティセールスに取り組むべき。

A 現在、なとりの魅力を広く伝える冊子や動画を制作し、冊子の掲載内容は市民アンケート等で魅力発掘を行っている。

Q 市民協働により魅力をもっとアピールすべき。

A 名取にはまだまだ様々な魅力がある。さらに市民協働による魅力の発信に努めたい。

Q 市民のためにとの思いで、市民サービスに懸命に取り組む職員の姿勢と熱い思いこそ、本市の何よりの魅力と位置づけ、広報やポスター、そのほか様々な機会に、シティセールスの一環としてアピールすべき。

A 職員は市民のためにとの思いで日々業務に取り組んでおり、その思いをつないでいきたい。プロモーション動画等にも積極的に職員を起用し、市民のために懸命に取り組む姿勢や思いを、なとりの魅力の一つとして捉え、様々な場面でアピールしていく。

Q 職員の熱い思いを、市民のためにとの思いで日々業務に取り組んでおり、その思いをつないでいきたい。プロモーション動画等にも積極的に職員を起用し、市民のために懸命に取り組む姿勢や思いを、なとりの魅力の一つとして捉え、様々な場面でアピールしていく。

質問した内容
1 本市の魅力とその発信



Q カナダ国スーク市とは中学生海外派遣事業等二十数年交流を重ねてきたが、今後とも安定的に国際性豊かな人材育成を図り、スポーツ交流や産業交流等幅広い交流に向けて姉妹都市の締結をすべき。

A カナダ国からは東日本大震災の際に多大なる支援を受け、東京オリンピック・パラリンピックの際には復興ありがとうホストタウンとしてカナダ国の応援を行った。これまでの御縁を大切にさらなる交流の機会を創出するなど、市民の機運醸成を図りながら、スーク市との姉妹都市締結に向けて進めていきたい。

Q 仙台空港発着の国際定期路線は運休していたが、令和5年1月から台湾の台北とを結ぶ路線が再開する。路線のある海外の市等と国際交流を重ね、人・物の流れを活発化させることは地域の発展につながる。例え

ば、台湾はサイクルツーリズムが盛んなことからサイクルスポーツセンター等への誘客が期待できる。国際定期便が関わる都市等につき対面交流を重ね、地域経済の活性化を図るべき。

Q 今後国際定期便が再開されることで、インバウンド・アウトバウンド双方の期待ができるほか、ジェットロケットとも連携しながら輸出等の地域経済の活性化を図っていきたい。

質問した内容
1 カナダ国への謝辞
2 インバウンド(訪日外国人旅行)誘客の推進
3 外国企業の誘致
4 国際交流の推進



教育

子供が郷土に誇りを持ったための
教材を掘り起こすべき



山田 龍太郎

Q 現在の名取は、芸術面、

医学、教育、行政、消防、
土木、建築、農業、商業等
に貢献した方々の歴史の積
み重ねがつくったといえる。
歴史を紐解くことができる
本市独自の歴史本「現代
史」「近代史」として編集し、
学校教材の副読本として生
かすべき。

A 本市では、小学校4年の

授業において、副読本「わ
たしたちの名取市」を使っ
て、郷土の発展に尽くした
先人の働きについて学習し
ている。新たな副読本の作
成は考えていないが、改定
の際に内容を検討したい。

Q 教育委員会の中に市史編

さん室が設置された。資料
の収集も本格化してくると
思うが、旧二町四か村の中
にお住まいの素封家、郷土
史研究家の方々の協力があ
れば、集落ごとの貴重な資
料が集まるはずである。集
落ごとの特色のある出来事、
人物を抜粋し、子供たちに

伝えるための副読本を作っ
てほしいと思っている。

教科書とは別に地域学校
協働活動や総合学習の時間
に現場を視察したり、長老
に話を聞くことが大事だと
思うが、どうか。

A 市史編さんの取組と併せ

て、今後社会科学の副読本の
改定をする。また、各学校
での市域に関する学習の中
で取り上げられないか検討
していく。

質問した内容

- 1 郷土に誇りを持たせるため
の教材の掘り起こし
- 2 市民墓地公園の樹木の管理



保健

乳房補正具購入費助成事業に
取り組むべき



菅原 和子

Q 国立がん研究センターに

よると、20歳から30歳代の
女性において罹患率が高い
がんの第1位が乳がんであ
る。最近では医療の進歩によ
り治療を継続しながら社会
生活を送るがん患者の方が
増えているが、がん治療に
伴う脱毛や乳房全摘による
変化は相当な心の負担であ
る。治療に伴う外見の変化
に起因するがん患者の方の
苦痛を軽減するケアを行う
アピランスケアが全国的
に増えている。

A

これまでも具体的な検討
をしてきたところであり、
予算配分など総合的な判断
をする段階にきている。

質問した内容

- 1 女性の健康
- 2 出産・子育て応援交付金事
業

乳房補正具の購入費を助成
すべき。

先進自治体の取組や国の
がん患者の支援策を引き続
き検討する。

Q

多賀城市では令和3年度
から実施し、令和3年度3
件、令和4年度1件の実績
がある。本市でも行政とし
て就労支援の力強い後押し
が大事ではないか。

本市では、医療用ウィツ

グの助成は行っているが乳
房補正具の助成は行ってい
ない。この取組について、
令和元年12月議会で一般質
問をした時点では、県内で
6自治体を実施していたが、
現在は15自治体が女性の就
労支援や活躍できる環境つ
くりを後押ししている。

本市においても、乳がん
で全摘手術をした方の経済
的負担の軽減を図るため、



政策

愛されるふるさと名取に
銃は要らない



小野寺 美穂

ふるさと名取秋まつりで

の自衛隊の機動戦闘車の展示について、市民団体が抗議文を提出した際、市は戦闘車の展示はやめると回答したが、後日の記者会見では、問題だとは思っていないと発言した。発言内容の不一致について伺う。

災害から国民を守り、他国の侵略から国を守るという崇高な使命感で働く自衛隊の活動を市民に知ってもらう意味で、車両展示自体を問題とは思っていないと発言した。今後は様々な御意見を踏まえ、秋まつり実行委員会の方々と検討したい。

災害と他国からの侵略を同列に語るべきではない。自衛隊員の皆様が、戦闘車に乗らずに済むようにこそ尽力すべきである。銃についても同様である。市長自身が銃を携行している写真をSNSに投稿していたが、そこには模造銃と書かれて

いない。本物と思った市民もいた。たとえ模造銃であっても、手にすること自体が問題であるという認識はなかったのか。

その時点では問題という認識はなく、あくまでも秋まつりの様子を投稿したものである。ウクライナ情勢等を踏まえると適切ではなかったと反省している。

情勢によらず、たとえ手渡されたとしても銃を構えるべきではない。銃口の方に何が見えたのか。

適切ではなかったと反省している。

- 質問した内容
- 1 健康保険証とマイナンバーカードの一体化
 - 2 ふるさと名取秋まつりにおける自衛隊の機動戦闘車の展示と、市長が銃を携行した写真をSNSに投稿した件

環境

地下水の高濃度汚染問題に
当事者として取り組むべき



大久保 主計

市内の地下水から、国が示す目標値の15・8倍、全国で5番目に高い有機フッ素化合物(PFAS)の数値が出た。どう捉えて対応したのか。

高い数値であると捉えている。県からは、調査地点から半径500mにおいて飲用井戸がなく、所有者には飲用しないよう注意喚起を行った等の報告があった。環境省で継続監視、対応策等を検討するので、市では対応を行ってこなかった。

毒性が強く人の健康への悪影響を有するPFASについて、市の文書には、ヒトへの健康影響は著しく低いとあるがその根拠は何か。

県から、地下水が飲用に用いられていないことなどから、健康への影響は著しく低いと説明を受けている。

高濃度汚染が判明して以来1年半、人ごとのように傍観しているのは首長として

て危機管理能力が欠如しており、判断能力が心配である。健康への影響、周辺の汚染状況を確認し安全安心を確保すべき。

国の動向を注視し、県と連携して安心安全の確保に努めていきたい。

PFAS汚染について、迅速で適切な対応と正確な情報を発信すべき。

適切な対応と正確な情報発信に努めたい。

PFASは永遠の化学物質と言われ、一度汚染されると長い時間をかけて対応せざるを得ない。ホームページで情報を発信すべき。可能な範囲で情報公開していきたい。

- 質問した内容
- 1 PFASフッ素化合物汚染



健康

健康寿命の延伸のため 各種取組の充実を



波 穂森

Q 市として健康寿命をどのようにつえ、取り組んでいくのか伺う。

A 健康寿命の延伸のため、日常生活が制限される原因と考えられる脳血管疾患や虚血性疾患、糖尿病や高血圧等の生活習慣病予防や各種検診の受診勧奨、保健指導等に取り組んでいる。

Q 胃がん検診はバリウム検査のみである。胃内視鏡検査との選択制を導入すべき。

A 内視鏡検査の導入に当たり、医療機関での受入れ体制や検査費用の負担の在り方など、整理すべき課題もある。令和5年度から医師会及び関係機関と検討を開始すべく事務調整中である。
Q 病気の早期発見・治療のため、国保加入者への人間ドック・脳ドック受診利用補助制度を創設すべき。

A 人間ドック・脳ドックは、病気の早期発見に有効な手段であると認識している。いずれの検査も検査料が高

額であり、この点から受診をちゅうちよされる方もいると捉えている。助成制度を検討するに当たり、財源の確保と継続的に実施可能な制度設計を固めていく必要がある。先進自治体の例などを参考にしながら、本市の国保会計にどのような影響があるのかを考慮の上、導入について判断したい。

- 質問した内容
- 1 市民の健康寿命を延ばす取組
 - 2 高齢者への補聴器購入費助成制度の創設



福祉

医療的ケア児等への支援や取組の強化を求める



齋 浩美

Q 医療的ケア児等への支援策について、市の認識と取組、課題は。

A 本市では、令和3年10月から医療的ケア児支援事業を行っている。これは、訪問看護事業所から障害児通所支援事業所へ看護師を派遣し、医療的ケア児の受入れを行うもので、県の医療的ケア児支援促進モデル事業として先進的に取り組んでいる。課題は、乳幼児から小中学生等の幅広い年齢や、心身の状況は一人一人異なり、それぞれの必要に応じた支援の提供である。

A 教育委員会では、学校で分け隔てない教育を受けられるよう、適切な支援を行うべきものと捉えている。

取組として、幼稚園・保育園等や学校と連携し、適宜、就学相談を実施し対象児童の把握と対応に努めている。課題は、看護師等を派遣する体制や教職員への研修、校内の施設整備等、ソフト・

ハード両面の支援体制の構築である。

Q 本市では子育て支援の充実を掲げているが、医療的ケア児等への支援は不足しているとの声を聞く。要望などを丁寧受け止めて取り組むべき。

A 従来の支援策では対応できない場面もあり、必ずしも十分な対応ができていないと言えない。対象児童への新たな国の支援制度を的確に運用し、本人や家族からの要望等にも丁寧に耳を傾け、できる限りの支援に取り組む。

- 質問した内容
- 1 本市の知名度の向上と交流人口の増加に向けた取組
 - 2 住宅リフォーム制度の創設
 - 3 医療的ケア児等への支援の充実





大友 康信

12月定例会 議案審議

名取市の

こんなことが決まりました

12月定例会 会期 12月7日～12月16日

12月定例会の議案は

市長提出議案

条例……………4件

補正予算……………8件

議決案……………6件

議員提出議案

条例……………2件

意見書……………1件

計21件

提出された議案の概要は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」を御覧ください。



Q 乳幼児から4歳までのワクチン接種券を希望者に送付する方法とした理由は。

A 一般の接種方法とは異なることの周知と接種を受けるかどうか慎重に判断していただくためである。

Q 接種状況と副反応についての現況は。

A 令和4年度は11月末現在で延べ5万3100人が接種。接種後に体調不良を訴えたのは全体で4人だった。

Q ワクチン接種の危険性について、全国の医療関係者や国会議員、地方議員など多くの方々が訴えている。接種回数と感染者数の推移、全国的な超過死亡数(※)の増大など、これまで公表され蓄積されているデータを調査分析すべき。

A 可能な限り情報収集に努めたい。

Q 学校や職場、医療施設や介護施設、福祉施設のほか、あらゆる場所でワクチンを接種しない選択をしても、

同調圧力のかからない配慮が広がるよう取り組むべき。

A 今回聞き取りを行い、そのような実態はないと確認した。ワクチン接種は義務や強制ではなく、本人が希望する意思に基づいて行われることであり、今後も機会を捉えて周知徹底を図る。

A 児童生徒や職員にも、同調圧力がかからないよう配慮している。

A 接種を希望しない消防職員に対して同調圧力がかからないよう、守秘に努めました。

質問した内容
1 これからの子供・子育て支援の体制づくり
2 新型コロナウイルスワクチン接種の周知

※超過死亡数とは…ある時点の実際の死亡数が、例年の同時期の数値から予測される死亡数の95%を上回った数。

Pick up 1

犯罪被害者等に対する総合的な支援を推進します

犯罪被害者等が受けた被害の早期軽減を図るとともに、市民が安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現を目指します。

こんな質疑がありました

Q 関係団体や機関との相互連携や調整は、どのようなところと行うのか。

A 宮城県警察警務課犯罪被害者支援室や、みやぎ被害者支援センター等と連携し支援していく。

Q 手続や相談体制のワンストップ化が必要と考えるが、本市ではどの部署が担当するのか。

A 防災安全課が総合窓口となる。

Q 被害者等の心のケアはどのようにしていくのか。

A 既存の制度とともに関係機関と連携し、切れ目のない支援を行っていく。

Q 条例制定後、広報・周知はどうするのか。

A 広報や市ホームページを利用した啓発活動を実施する。

Pick up 2

宮城県南部消防指令事務協議会の設置については否決されました

消防サービスの高度化及び消防力の強化を図るため、仙南地域広域行政事務組合、亶理地区行政事務組合及び本市の共同機関として消防通信指令事務に関する協議会を設置することについて、令和4年11月18日の議員協議会の協議内容を踏まえ上程されました。

こんな質疑がありました

Q 3団体で協議会をつくるに至った発端は。

A 県からは当初、全県一括で共同運用の提案があったが、仙台市が抜けたことで県南ブロックでの検討となった。

Q 議員協議会の意見を受けて変更はあったか。

A 職員への周知、消防団の幹部会へ説明をし、ある程度の理解を得た。

Q 通信指令係6人中5人の派遣を予定しているが、残された業務を1人で行うことは無理があり、負担が増えるのではないか。

A 警防隊に担当してもらう業務も出てくる。

Q 消防本部全体の人員体制整備をするべきではないか。

A 手倉田出張所に救急車を配備するタイミングで、あるべき人員体制について決定していく。

審議結果

▶ 賛否が分かれたもの

※ ○は賛成、×は反対、欠は欠席

会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果	議員名（議席番号順）																	
					菊地昌夫	熊谷克彦	笹森波	千葉栄幸	板橋美保	大泉徳子	大久保主計	齋浩美	菅原和子	吉田良	荒川洋平	大友康信	及川秀一	佐藤正博	長南良彦	小野寺美穂	郷内良治	丹野政喜
第9回定例会	市長	議案第103号	宮城県南部消防指令事務協議会の設置について	否決	○	○	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×	×	欠	○	×
	議員	議案第10号	消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施延期を求める意見書	可決	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	欠	○

※地方自治法第116条の規定により、議長は表決に加わっておりません。

今期定例会において全会一致で可決した議案を含む、審議結果の一覧は、市議会ホームページの「議案の概要と審議結果」を御覧ください。



Topics

No.1

議員提出議案（意見書・条例の一部改正）について

市議会では12月定例会において「消費税のインボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施延期を求める意見書」を賛成多数で可決し、内閣総理大臣等宛てに提出しました。また、名取市議会議員の政治倫理に関する条例の一部を改正する条例について全会一

致で可決しました。政治倫理基準に抵触する行為の調査請求を行う際には、抵触を証する資料の添付が必要となることについて条例に明確に規定し、また、その資料等の具体例を施行規則に明記することとしました。

No.2

第8回臨時会（10月7日）

○議案第87号 名取市手数料条例の一部を改正する条例

マイナンバーカードの普及促進の一環として、コンビニエンスストア交付サービスによる住民票の写し等の交付手数料を、窓口の場合と比べて減額するため、所要の改正を行いました。

○議案第88号 令和4年度一般会計補正予算（第9号）

非課税世帯等へ5万円を支

給する、住民税非課税世帯等電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費や、名取土地改良区で実施する令和4年3月16日の福島県沖地震で被災したパイプライン等の農業用施設の復旧工事費用に対する補助金、名取市商工会との連携により新たに取り組む、地域応援プレミアム商品券の発行に要する費用などを措置しました。

No.3

令和4年度議会懇談会を開催しました

議会懇談会は、市議会の活動を報告・説明し、より近くで市民の皆様の声をお聞きするために、平成21年度から行っており、3年ぶりの開催となりました。

今回は、一般市民の方々を対象に市内6か所で、また市内の3つの関係団体の方々との懇談会を開催しました。

公共交通体系の今後や空家対策の条例、そして地域の課題などをテーマに懇談を行い、様々な視点から貴重な御意見や御要望等を伺うことができました。伺った御意見等については、検討等を行い、市当局に対して必要な提言等を行います。

ました。

報告書は、各公民館や名取駅コミュニティプラザに設置しております。また、市議会ホームページでも御覧いただけます。



No.4

12月定例会では、2件の陳情が提出されました

○陳情

◆増田川河原前橋橋脚改良工事に関する陳情

(高館第7区 区長 伊藤 一郎氏ほか113名)

◆ゆりが丘地区についての陳情

(小柳 博子氏)

No.5

議員協議会 (11月18日)

○消防指令業務の共同運用について

宮城県消防指令業務共同運用検討委員会の中の本市消防本部、仙南地域広域行政事務組合消防本部、及び巨理地区行政事務組合消防本部の3団体で構成する作業部会県南ブロックで検討を重ね、指令業務を共同運用することが望ましいとの

結論に至ったことについて説明がありました。

3団体の協議により、今後共同運用の実施に向けた調整を進めることを確認したこと、消防指令業務共同運用の概要及び共同運用に伴う協議会の設置の概要などについて説明がありました。

No.6

議員協議会 (12月6日)

○学校給食費無償化の対象範囲拡大について

令和2年4月から市内の中学3年生を対象に実施している学校給食費の段階的無償化について、新たに中学1・2年生まで対象範囲を拡大することの説明がありました。

○手倉田くじら保育園の取扱いに関する方針変更について

手倉田くじら保育園について、現在の敷地内で保育事業を継続したまま、現在の事業者が民設民営で新たな施設を整備することの方針を変更するため、その経過や今後のスケジュール等について説明がありました。

N WATCH

エヌ・ウォッチ

今号の表紙を飾ってくれた、FJV 名取ライジンズの皆さんからお話を伺いました。



監督 おおうち やすゆき
大内 康之さん

チームのメンバーは

不二が丘小学校を中心に、愛島・館腰・ゆりが丘地区の児童 20 名です。うち女子 2 名です。

チームの指導で心がけていることは

子供たちの笑顔を大切に、遊び感覚も取り入れながら指導しています。練習では、ミスをしたときに「なぜミスをしたのか」を考えさせると、子供たちは前向きになり、笑顔になります。また、道具を大切にすることなどを通して、人間形成を図っています。

チームの目標は

様々な大会に参加し、一つ一つ勝ち進み、県大会で優勝することです。

令和5年2月定例会は、
2月20日(月)
開会予定です。

議会を読もう

名取市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。バックナンバーは、ホームページでも御覧いただけます。



議会を傍聴しよう

現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止の御協力を頂いております。詳しくは、市議会ホームページで御確認いただくか、議会事務局へお問い合わせください。



会議録を読もう

本会議及び財務常任委員会等の会議録をインターネットで公開しています。詳細な議論の内容の確認に、ぜひ御活用ください。



議会を動画で見よう

本会議や議員協議会の模様をインターネットで中継(生中継・録画中継)しています。ぜひ御活用ください。

※スマートフォンやタブレット端末での視聴にも対応しています。



議会に参加しよう

議会に対して陳情等を提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

編集後記

委員
菊地 昌夫

12月定例会においては、名取市犯罪被害者等支援条例が可決し、制定されました。その目的には、犯罪被害者等が受けた被害の早期軽減と、市民が安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現に寄与することがうたわれております。世相はウクライナ情勢をはじめ、世界

的に分断と対立による侵略やテロなど、争いに関する報道が後を絶ちません。今年こそは、コロナ禍が終息し、世界が平和と協調へ大きく前進し、どの国においても仲良く安全で安心して暮らせる明るい社会が実現することを願ってやみません。



名取市議会の情報はこちらから

名取市議会

検索

